

江北地区の新たな公共交通に関する アンケート調査結果について

平成29年12月22日（金）

調査概要

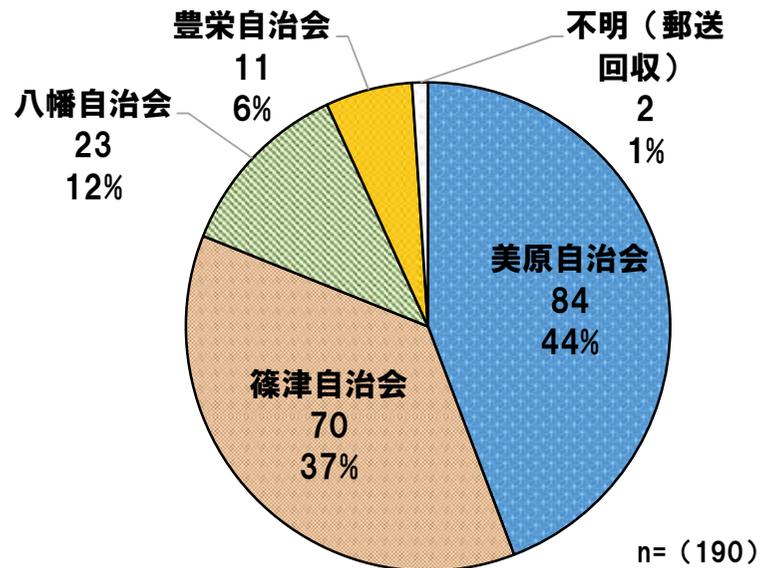
調査方法・回収状況

調査対象：江北地区の自治会加入世帯の世帯主
調査方法：自治会を通じた直接配付・直接回収
配布数：303世帯
回収数：193世帯（有効回答190世帯）
回収率：63.7%（有効回答率62.7%）

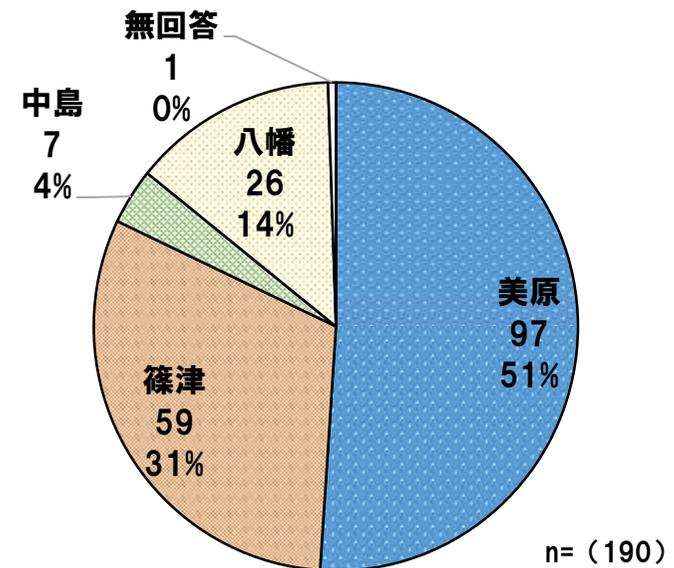
※四捨五入により、合計が100%にならない場合あり

質問1.回答者の属性

①自治会

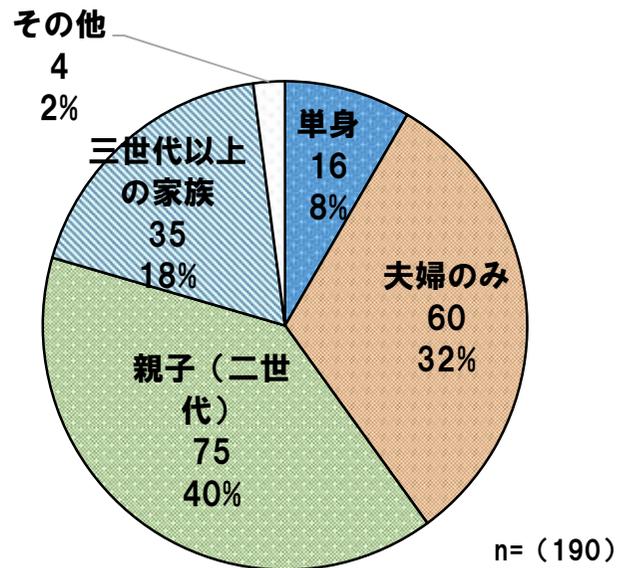


②居住地

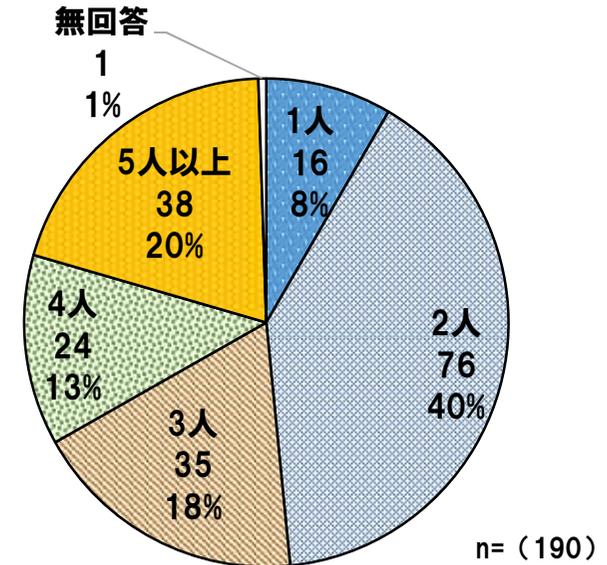


質問1.回答者の属性

③世帯構成

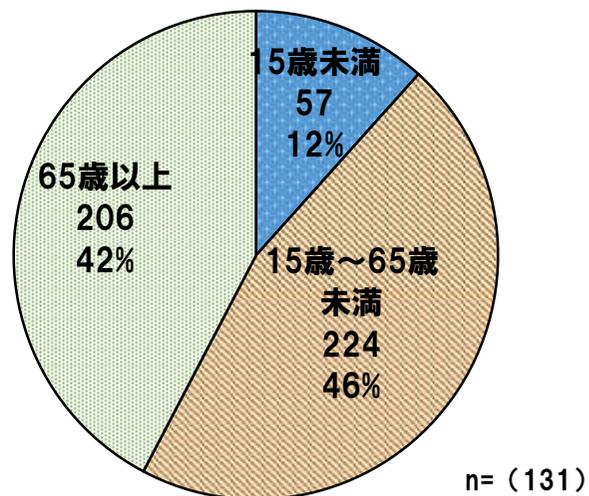


④-1世帯構成員数(世帯人数)

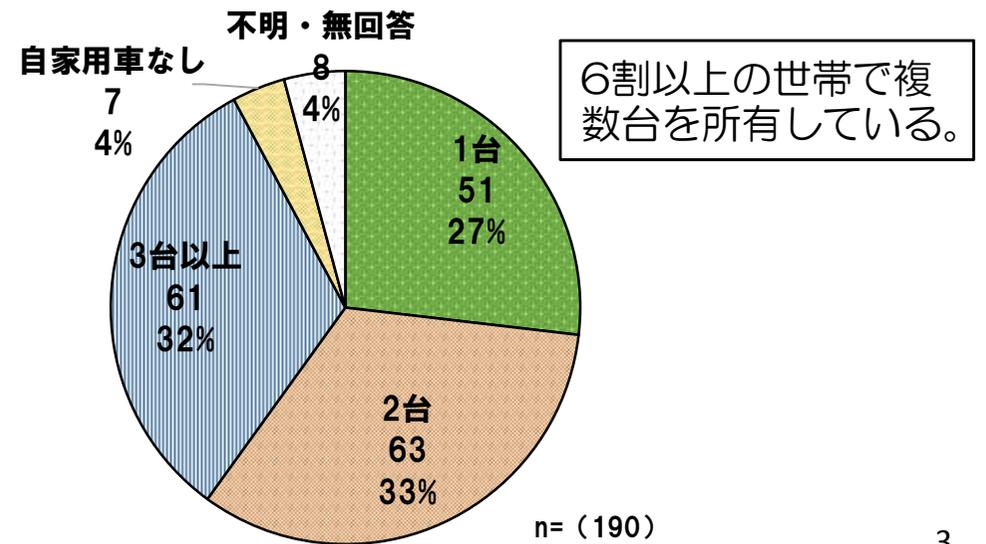


④-2世帯構成員数(年齢別)

※無回答を除く

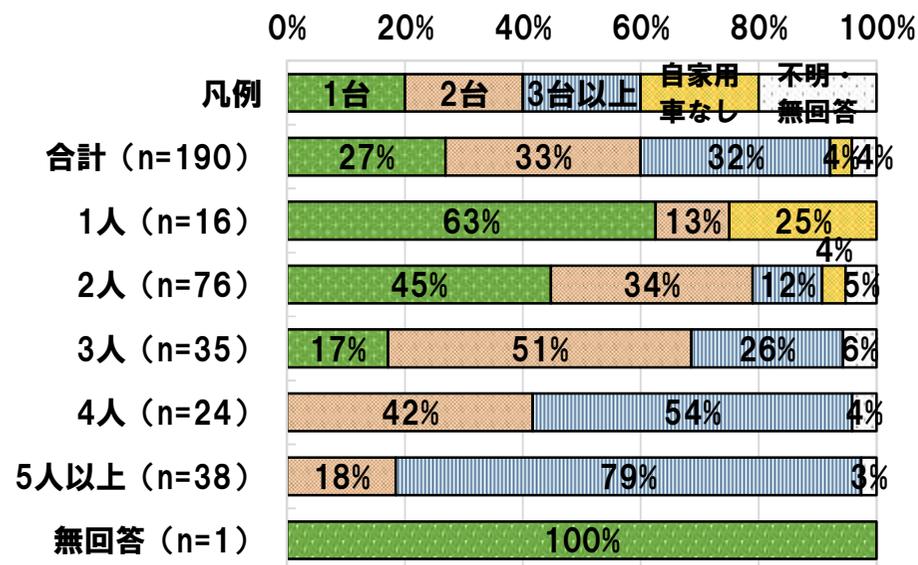


⑤保有する自家用車台数



質問1.回答者の属性

⑥世帯人数×保有する自家用車台数

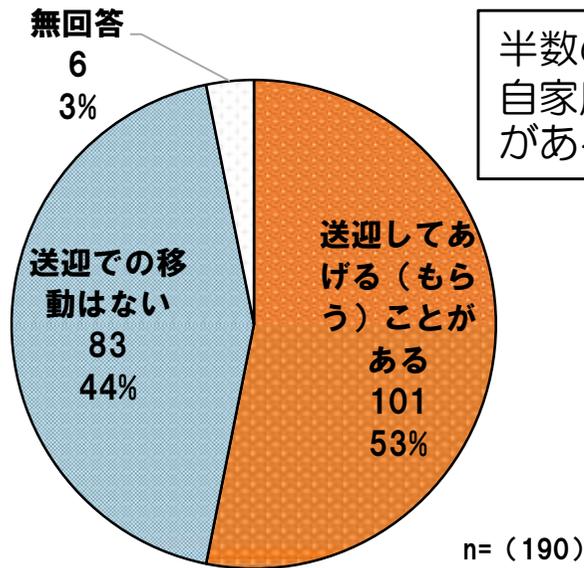


	1台	2台	3台以上	自家用車なし	不明・無回答	合計
合計	51	63	61	7	8	190
1人	10	2	0	4	0	16
2人	34	26	9	3	4	76
3人	6	18	9	0	2	35
4人	0	10	13	0	1	24
5人以上	0	7	30	0	1	38
無回答	1	0	0	0	0	1

世帯人数に応じ、保有台数も多くなっている。

質問2.日常生活における交通(世帯における自家用車による送迎)

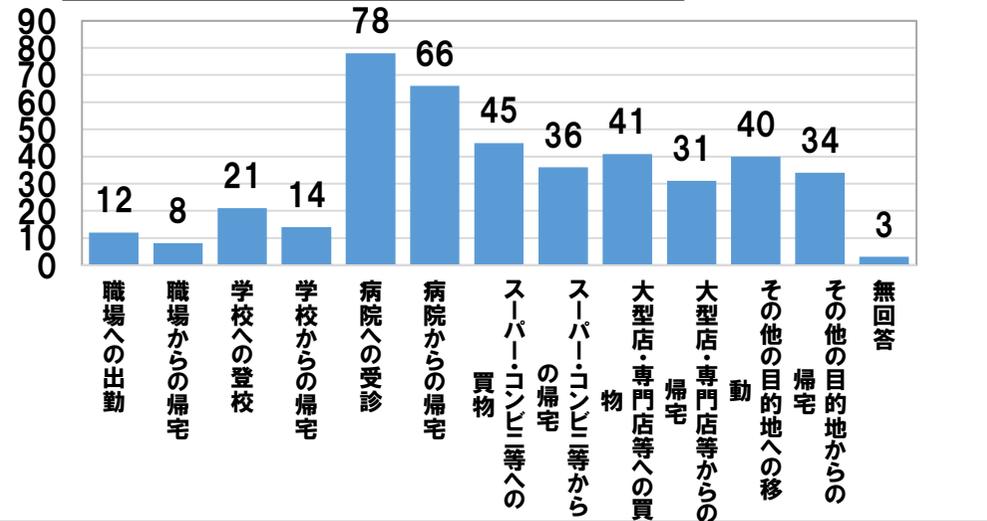
①日常生活において定期的な送迎状況



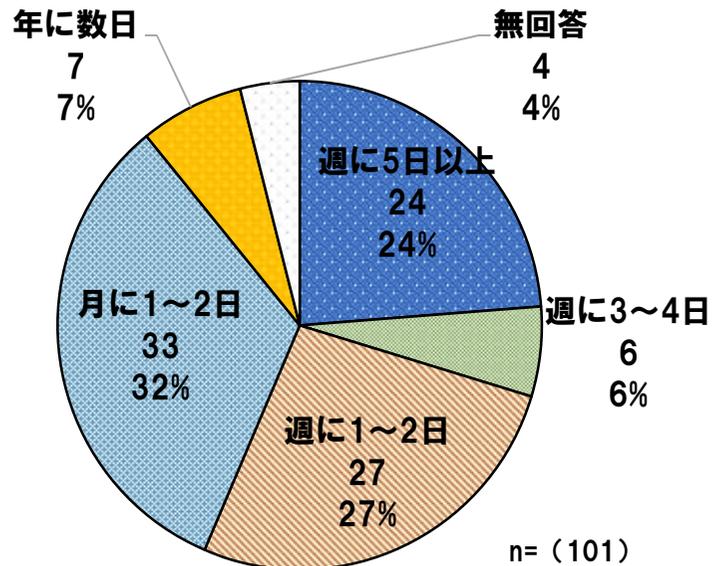
半数の世帯において自家用車による送迎がある。

②送迎目的

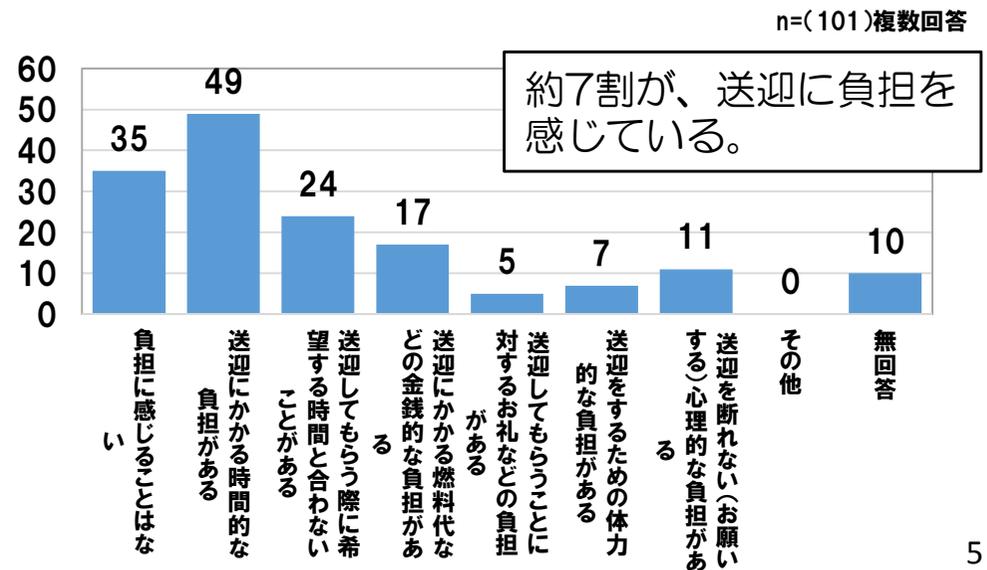
送迎の目的は、通院や買い物が多くなっている。



③送迎頻度



④送迎の負担



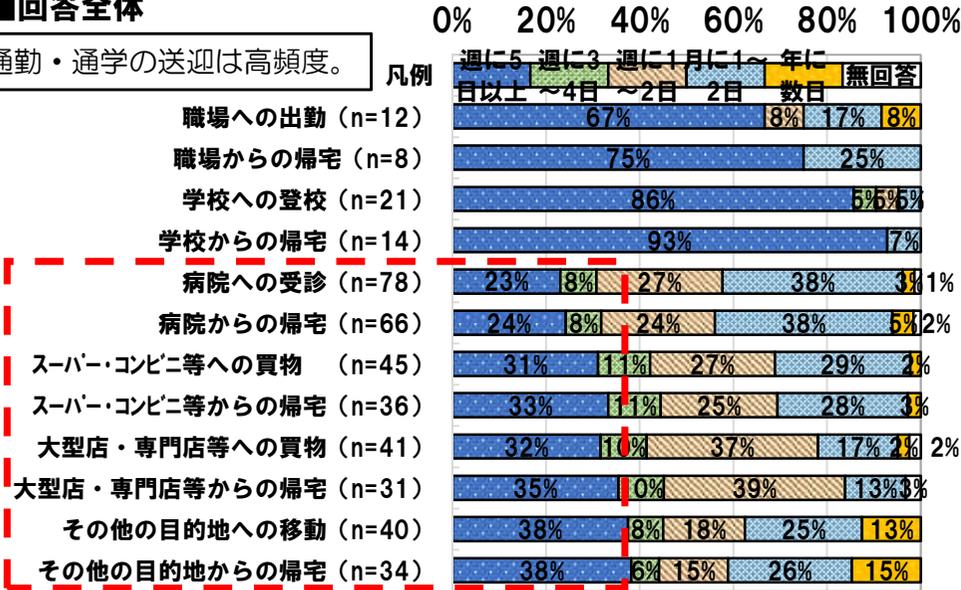
約7割が、送迎に負担を感じている。

質問2.日常生活における交通(世帯における自家用車による送迎)

⑥送迎目的(複数回答)×送迎頻度

■回答全体

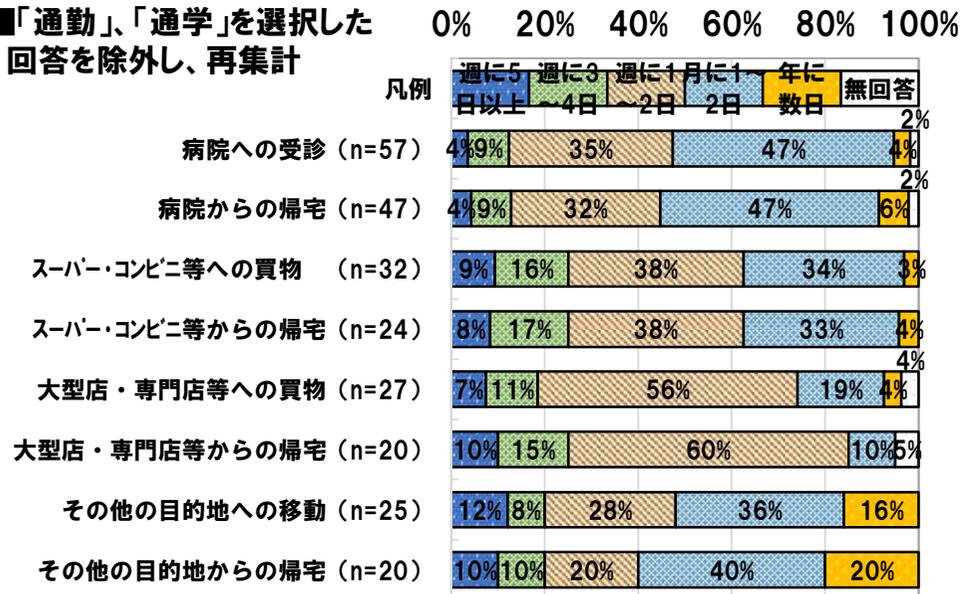
通勤・通学の送迎は高頻度。



	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	年に数日	無回答	合計
職場への出勤	8	0	1	2	1	0	12
職場からの帰宅	6	0	0	2	0	0	8
学校への登校	18	1	1	1	0	0	21
学校からの帰宅	13	0	0	1	0	0	14
病院への受診	18	6	21	30	2	1	78
病院からの帰宅	16	5	16	25	3	1	66
スーパー・コンビニ等への買物	14	5	12	13	1	0	45
スーパー・コンビニ等からの帰宅	12	4	9	10	1	0	36
大型店・専門店等への買物	13	4	15	7	1	1	41
大型店・専門店等からの帰宅	11	3	12	4	0	1	31
その他の目的地への移動	15	3	7	10	5	0	40
その他の目的地からの帰宅	13	2	5	9	5	0	34

送迎目的が複数回答のため「通勤」、「通学」の回答に影響され、「通院」や「買物」、「その他」目的の送迎頻度が高くなっている可能性がある。

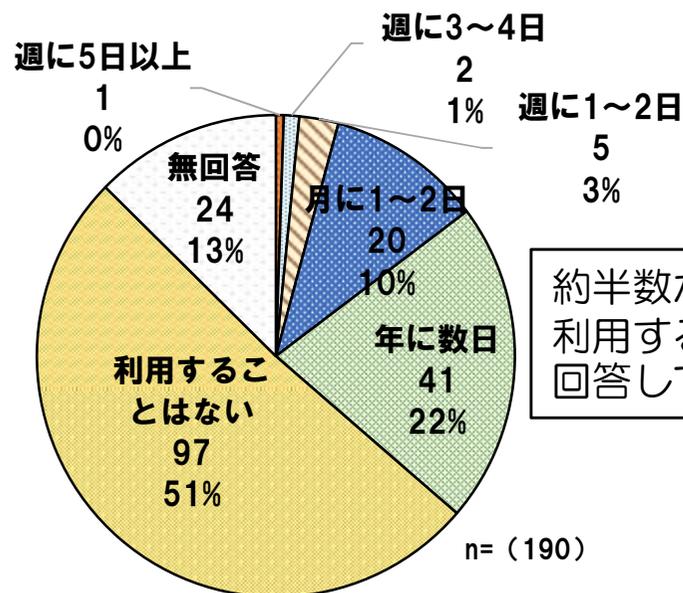
■「通勤」、「通学」を選択した回答を除外し、再集計



	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	年に数日	無回答	合計
病院への受診	2	5	20	27	2	1	57
病院からの帰宅	2	4	15	22	3	1	47
スーパー・コンビニ等への買物	3	5	12	11	1	0	32
スーパー・コンビニ等からの帰宅	2	4	9	8	1	0	24
大型店・専門店等への買物	2	3	15	5	1	1	27
大型店・専門店等からの帰宅	2	3	12	2	0	1	20
その他の目的地への移動	3	2	7	9	4	0	25
その他の目的地からの帰宅	2	2	4	8	4	0	20

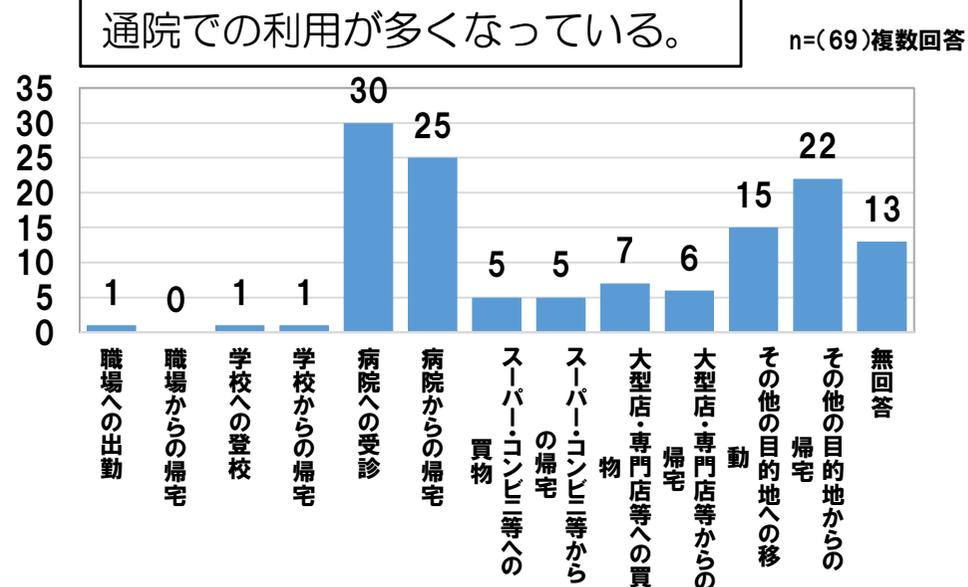
質問2.日常生活における交通(世帯におけるタクシーの利用)

①日常生活において定期的なタクシーの利用状況



約半数が、タクシーを利用することはないと回答している。

②タクシーの利用目的

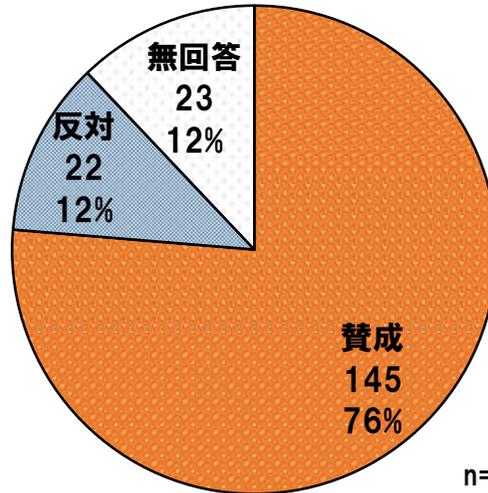


③タクシー利用に関する問題点や改善点

自由回答	回答数
料金が高い。	7
スクールタクシーでは大変お世話になっております。	1
できれば午前8時~9時頃にバスがあれば助かる。	1
バスの運行がすぐ可能ではないと考えると、高齢者や乳幼児がいる世帯にはタクシーチケットがあればいいと思う。月1~2回の利用。	1
街から(飲み会等)帰宅することがある場合、料金が高い。	1
市街地発の最終時刻をできるだけ遅くしてもらえないか。	1
時間によっては配車に時間がかかることがある。	1
朝、時間調整のため路上に車を止めている事がある(公共の場所等にしてほしい)。	1
冬道で大雪が降ると除雪が入るまで身動きできなくなる場合がある	1

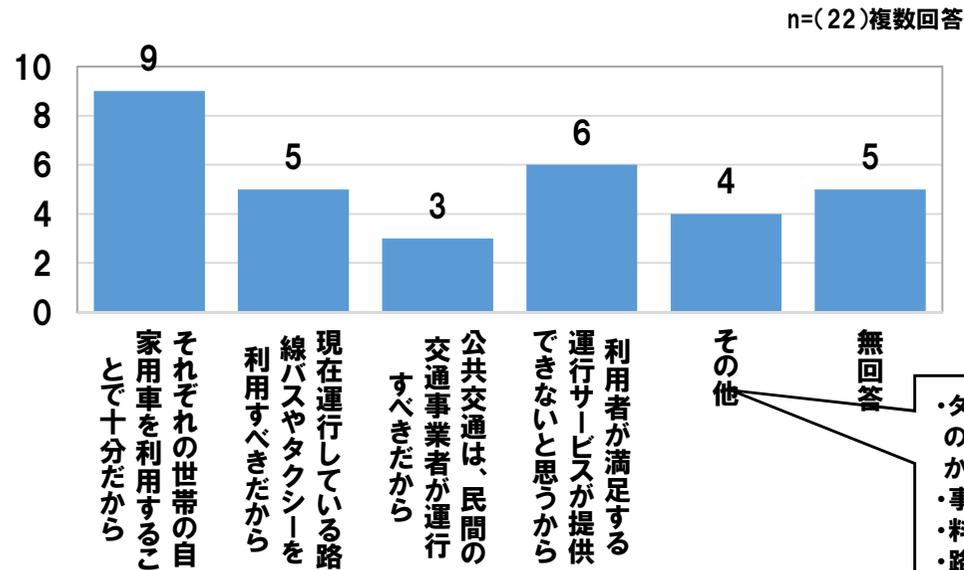
質問3.地域住民が組織する団体が運行する新たな公共交通(新たな公共交通の導入)

①新たな公共交通の導入について



7割以上が導入に賛成と回答している。

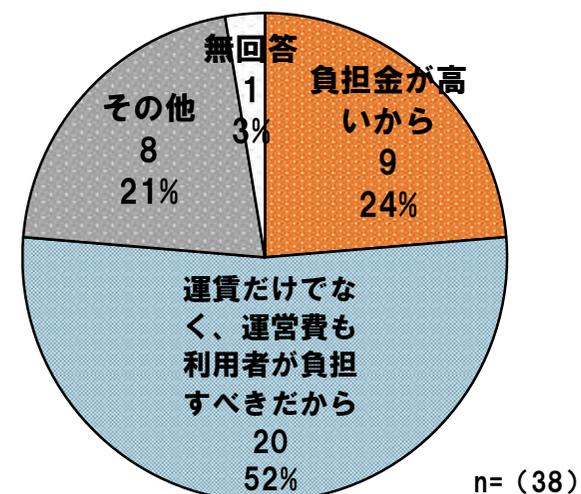
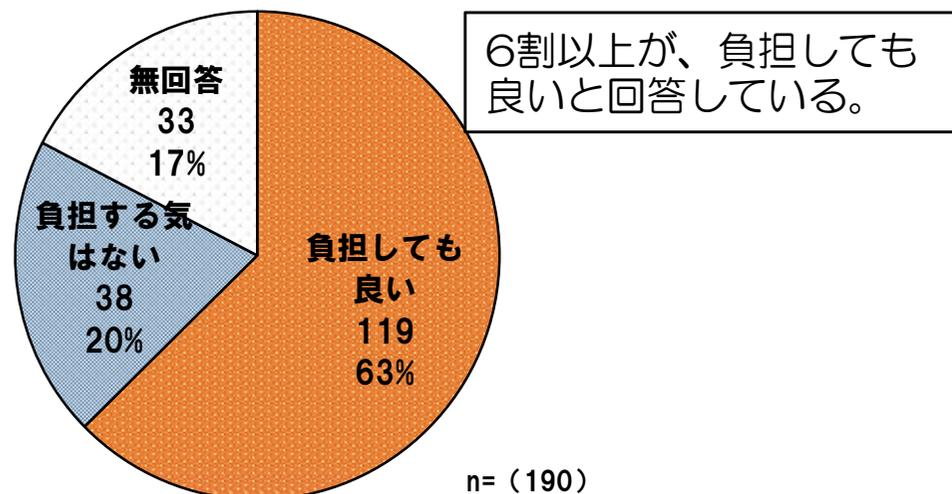
②反対する理由



質問3.地域住民が組織する団体が運行する新たな公共交通(運営費)

①運営するための費用を負担する意思

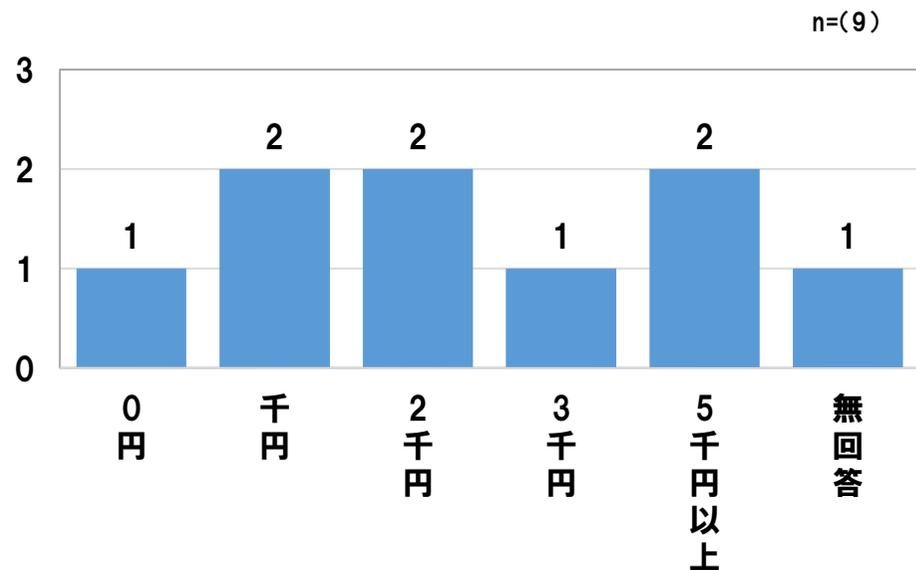
②負担する気はない理由



②負担する気はない理由(その他内容)

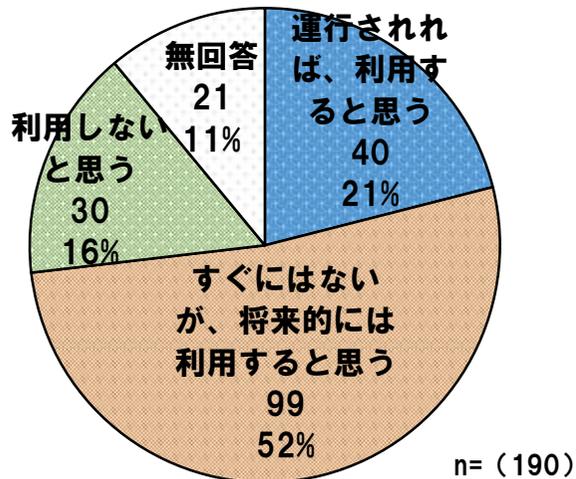
③負担金の上限

その他内容
運営をしても利用者の思っているようにはならないと思っています。家族が居なくて交通が不便な人へ介護タクシーの利用の方法など助成をしてあげると良いと思う。これから高齢化がすすみ公共交通をつくっても利用者は少ないと思う。
使用することは現在ないため。
市、道、国が運営するのであれば負担する。
すべての運賃によるべきでタクシーより割安でいい。
運賃は支払うが年会費はない方が良い。
運営費は市が行うべき。運賃は別。1~2割の負担は仕方がないが。
運賃片道800~1000円は高すぎる。片道500円程度。



質問3.地域住民が組織する団体が運行する新たな公共交通(新たな公共交通の利用意向)

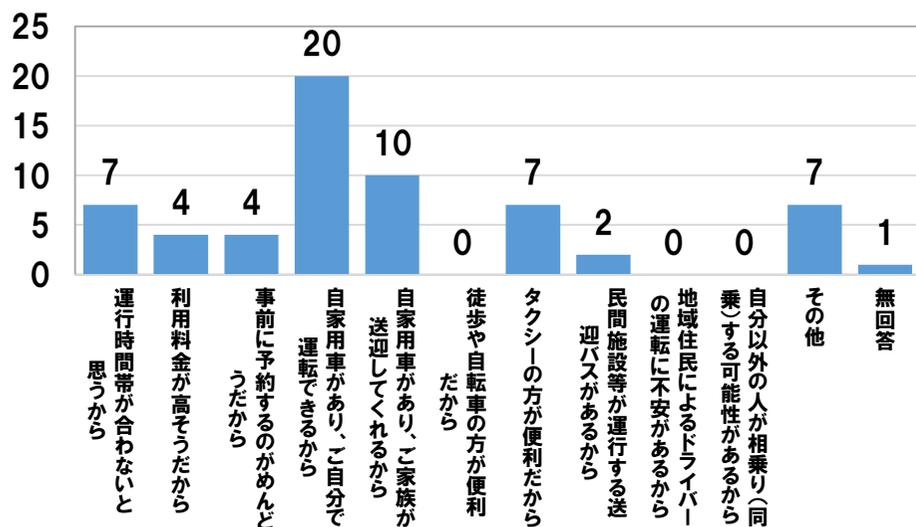
①新たな公共交通が運行された場合の利用意向



「すぐにはないが、将来的に利用すると思う」との回答が約半数、実際に利用が見込まれる「運行されれば、利用すると思う」との回答の割合が約2割となっている。

②利用しない理由

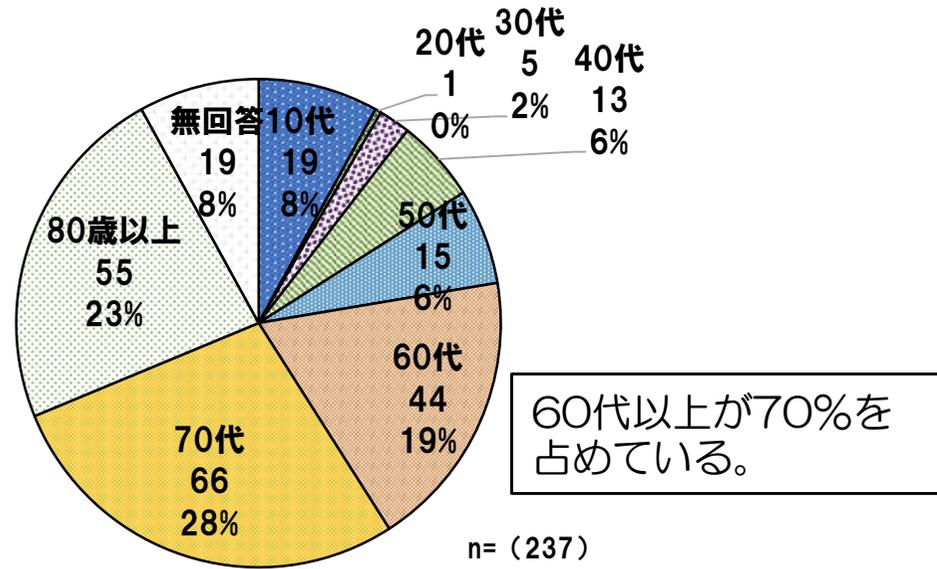
n=(30)複数回答



その他内容
タクシーを利用したほうが料金が安い場所に住んでいるため、冬ふぶきで希望した時間に除雪がされていない場合、高齢者は遠くて降ろされても自宅まで歩けないと思います。みんながメイン道路の側に住んでいるとは限らないと思います。
事故など考えるとタクシーは何が合っても後々安心してすし地域住民ドライバーさんがやりづらいと思う。
自分が運転できなくなった時、冬の除雪などが不便なので病院や買い物などのことを考えるとこの地域から出ることを考えています。
将来的には札幌圏へ行く予定。
利用できる状況ではない。
路線の問題など。
市外の外出が多いため(札幌市など)。

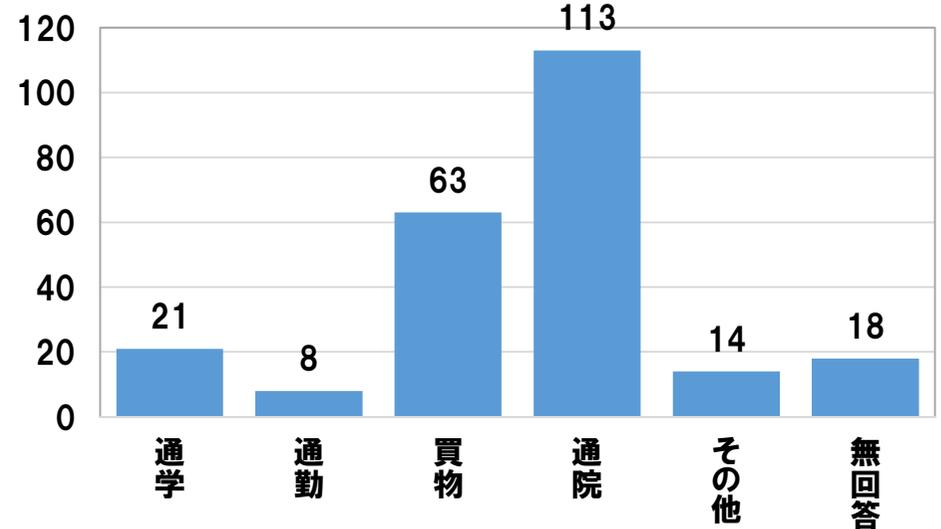
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(全体)

①利用者(年代)



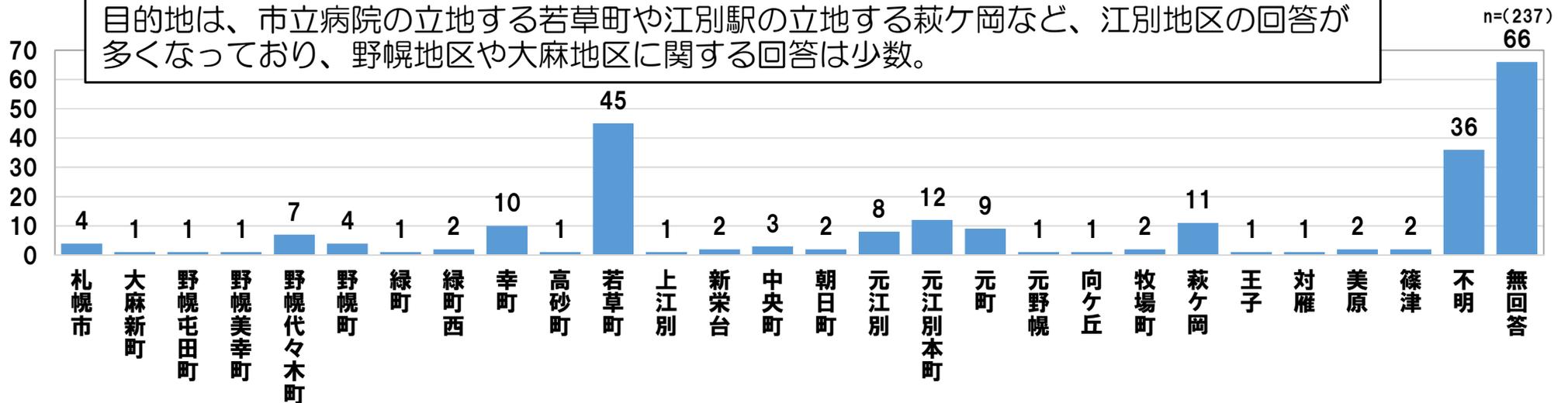
②目的

利用目的は通院・買い物が多くなっている。 n=(237)



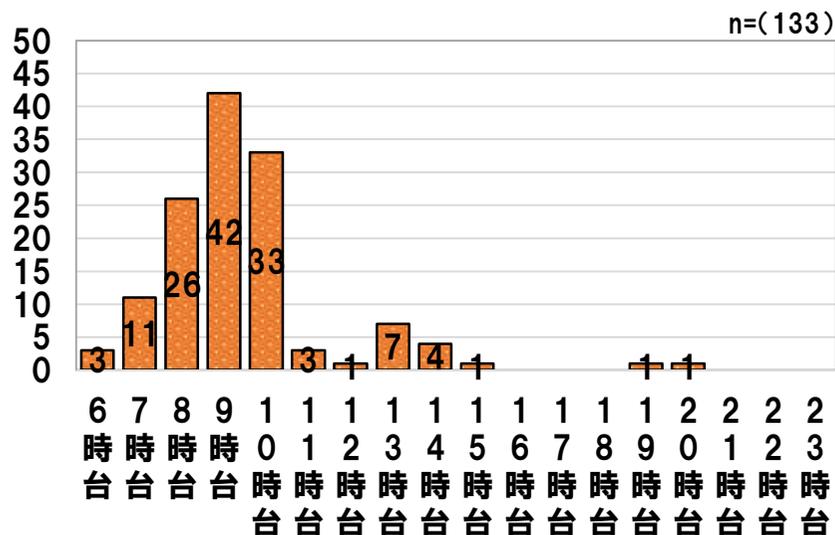
③目的地(住所)

目的地は、市立病院の立地する若草町や江別駅の立地する萩ケ岡など、江別地区の回答が多くなっており、野幌地区や大麻地区に関する回答は少数。



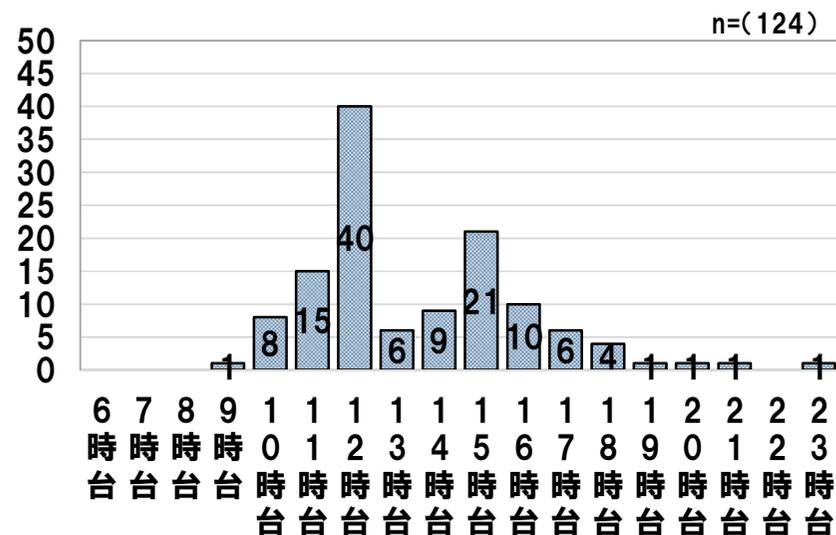
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(全体)

④目的地への到着時間



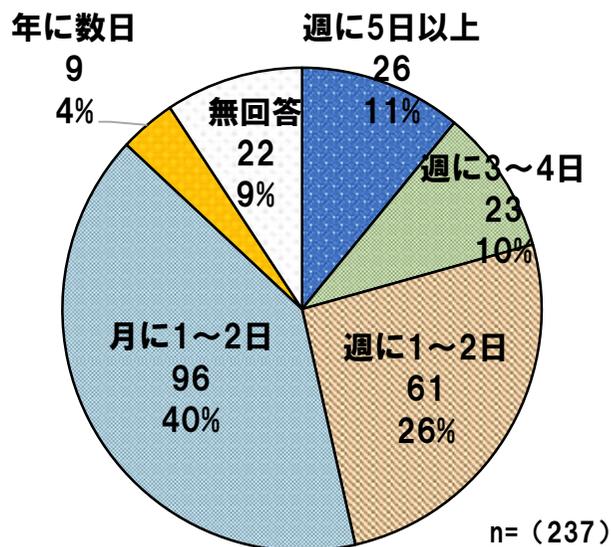
※無回答を除く

⑤目的地からの出発時間

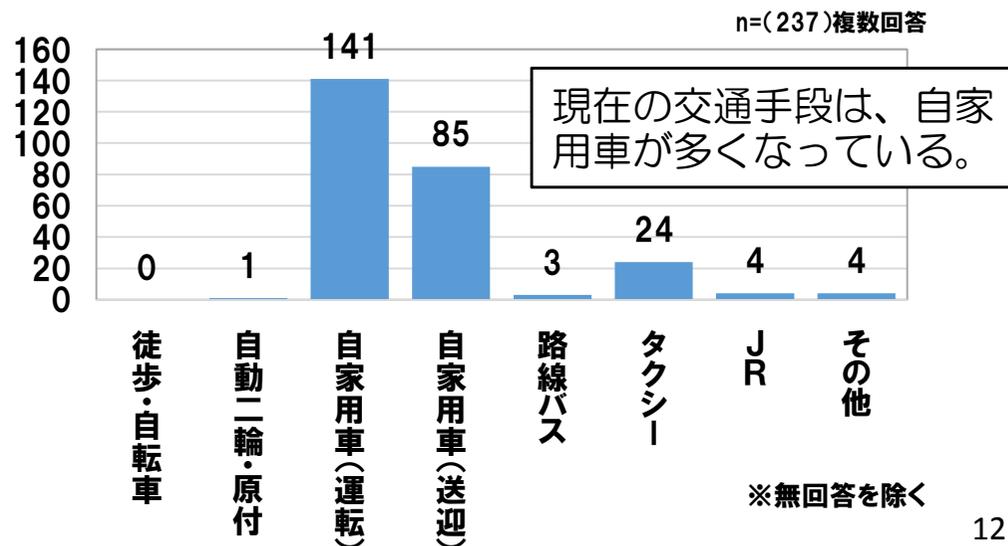


※無回答を除く

⑥頻度

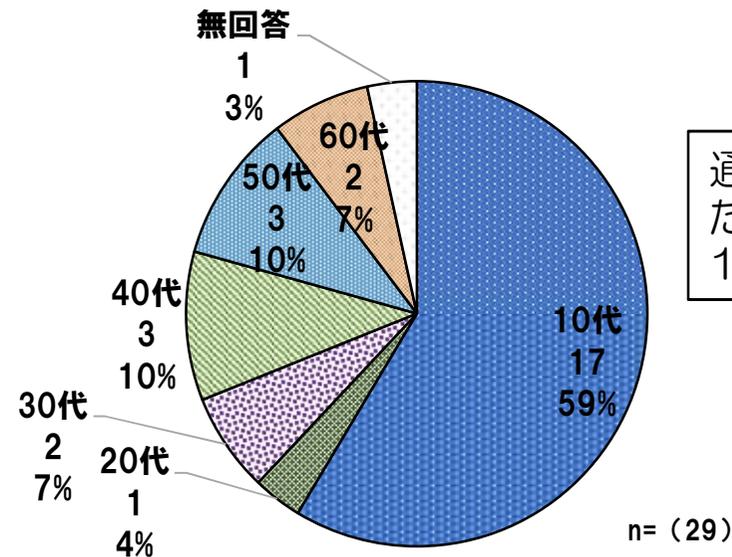


⑦現在の交通手段



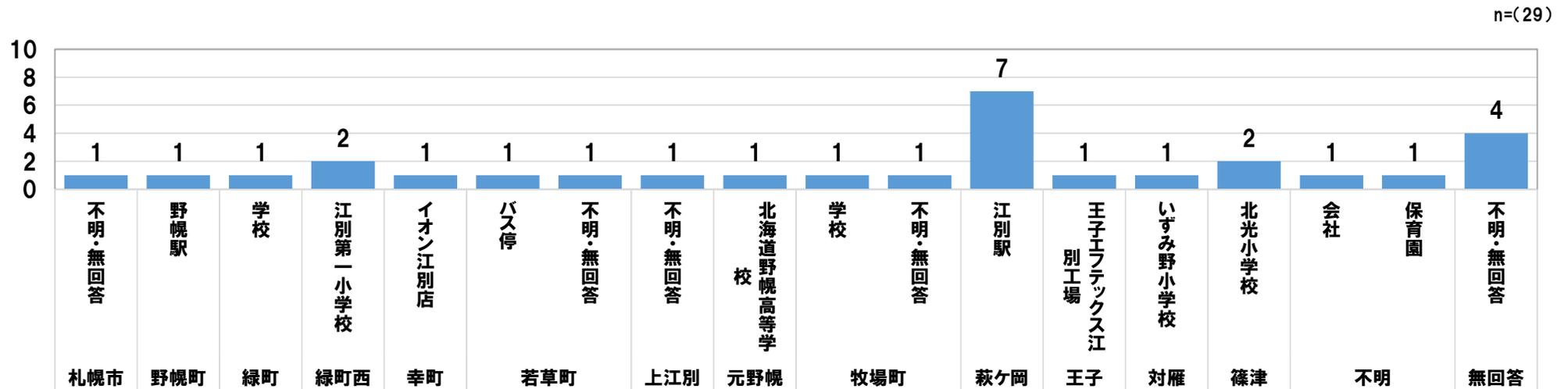
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(通勤・通学)

①利用者(年代別)



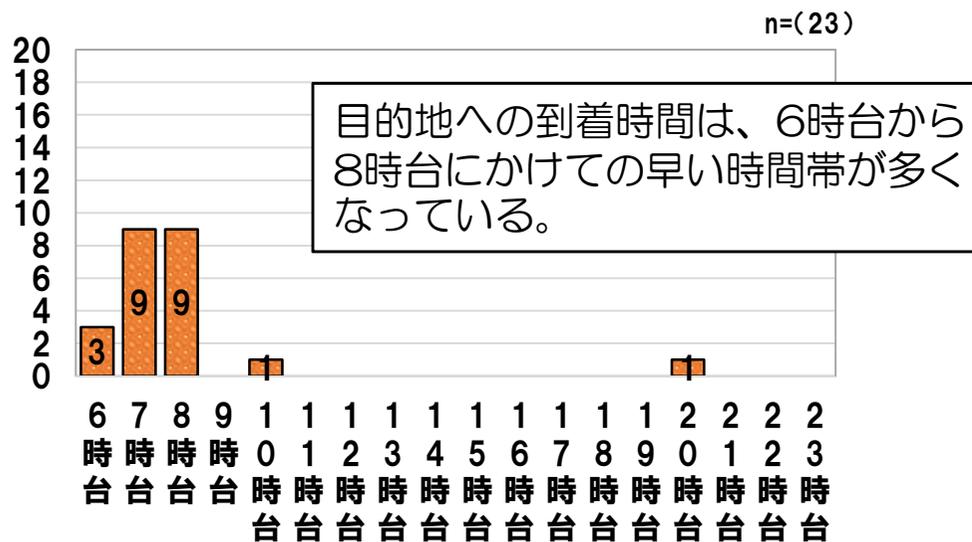
通勤・通学を目的とした利用意向の多くは、10代となっている。

②目的地(住所・施設名)



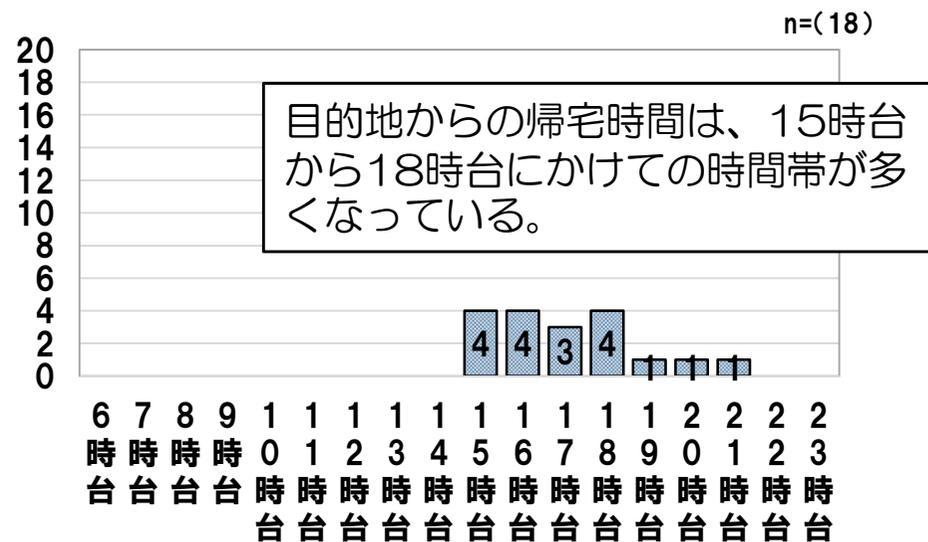
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(通勤・通学)

④目的地への到着時間



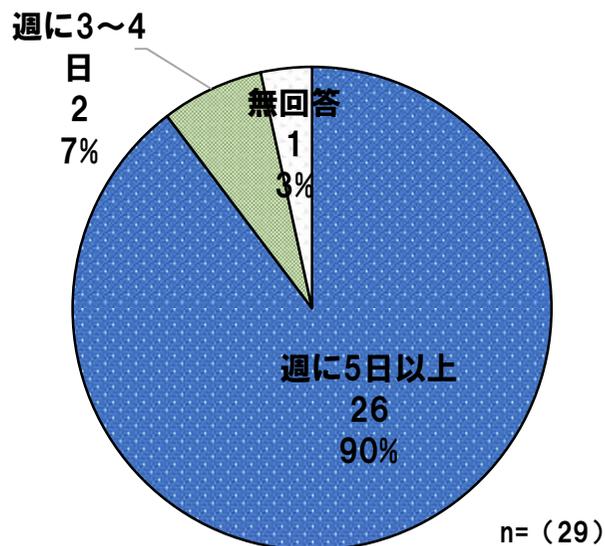
※無回答を除く

⑤目的地からの出発時間

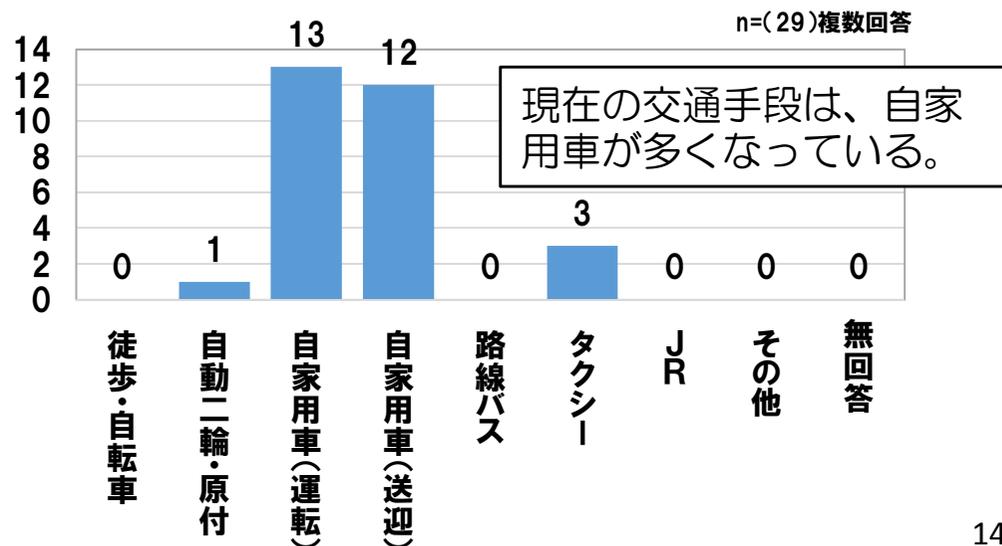


※無回答を除く

⑥頻度

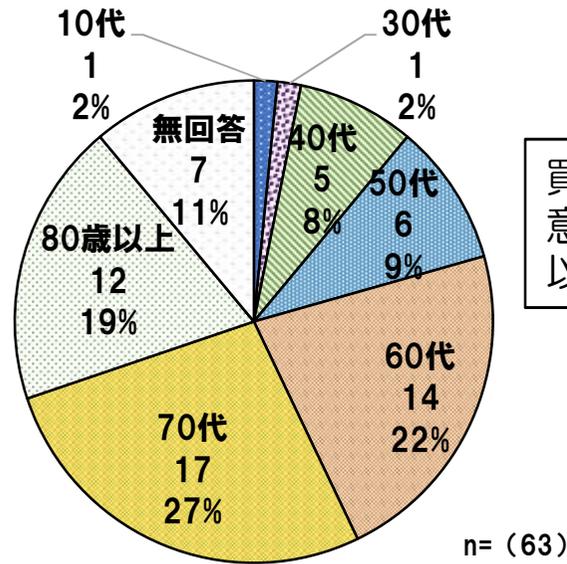


⑦現在の交通手段



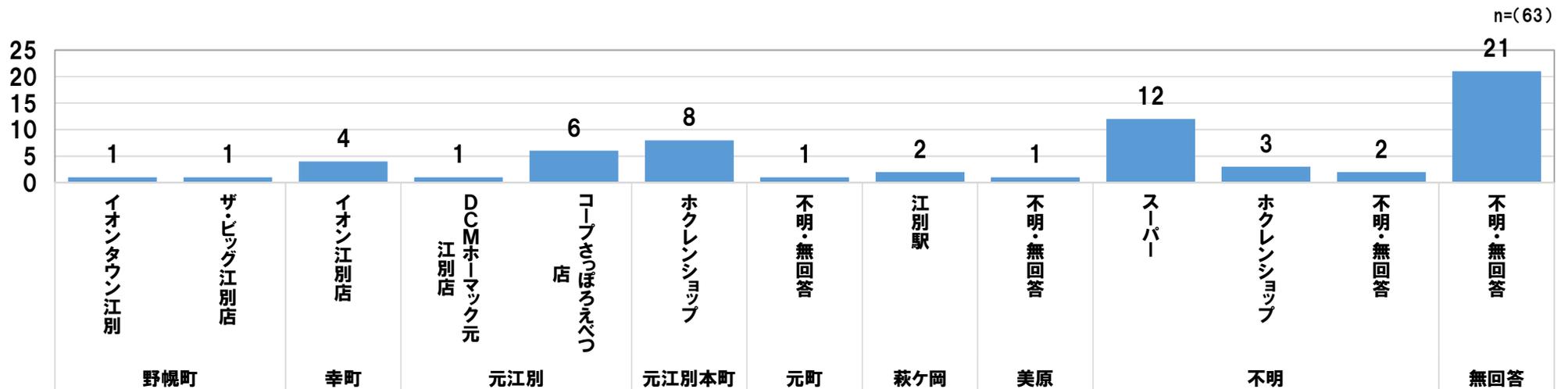
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(買物)

①利用者(年代別)



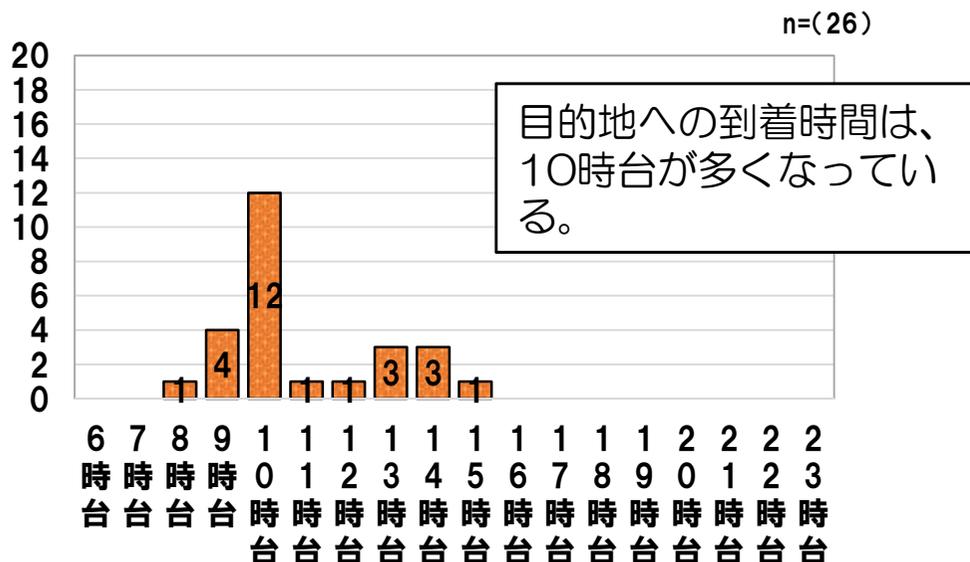
買物を目的とした利用意向の多くは、60代以上となっている。

②目的地(住所・施設名)



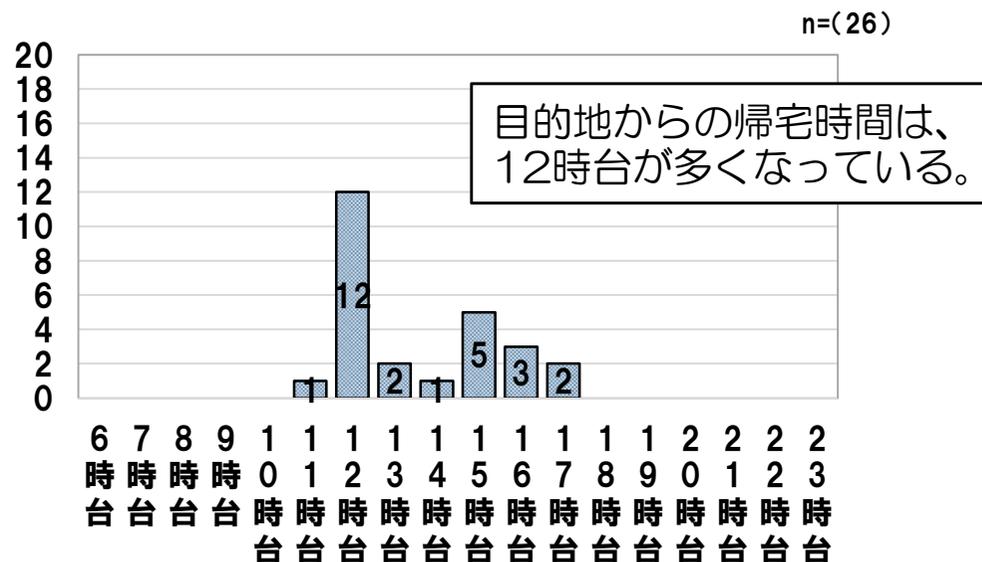
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(買物)

④目的地への到着時間



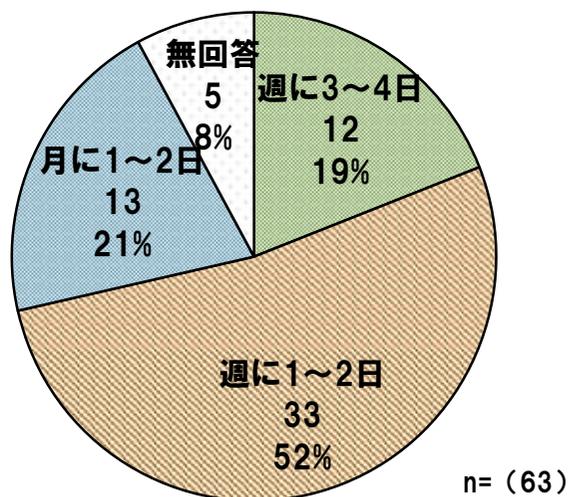
※無回答を除く

⑤目的地からの出発時間

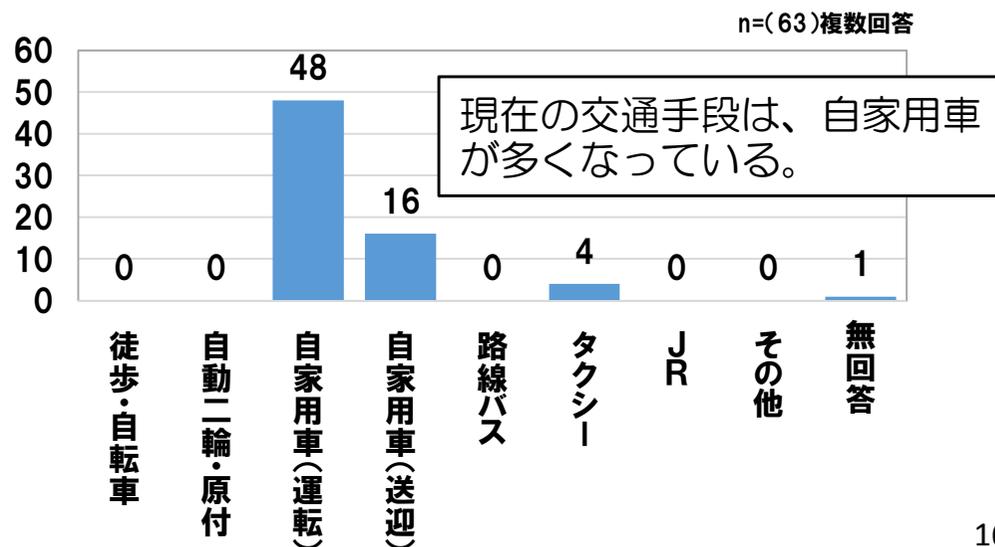


※無回答を除く

⑥頻度

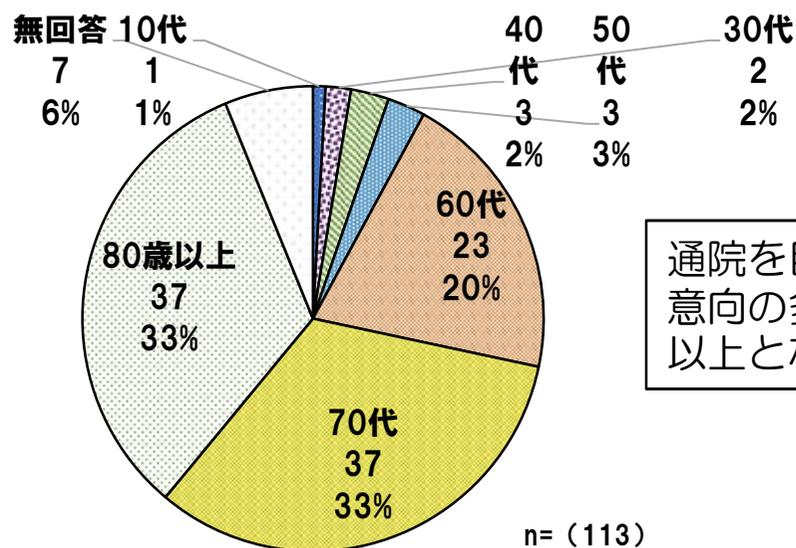


⑦現在の交通手段



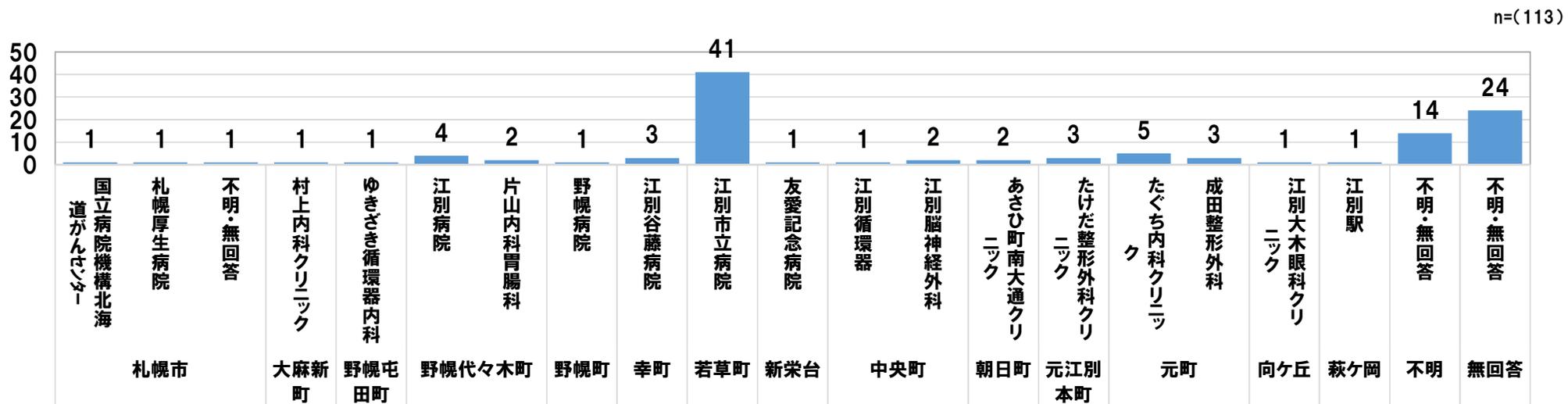
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(通院)

①利用者(年代別)



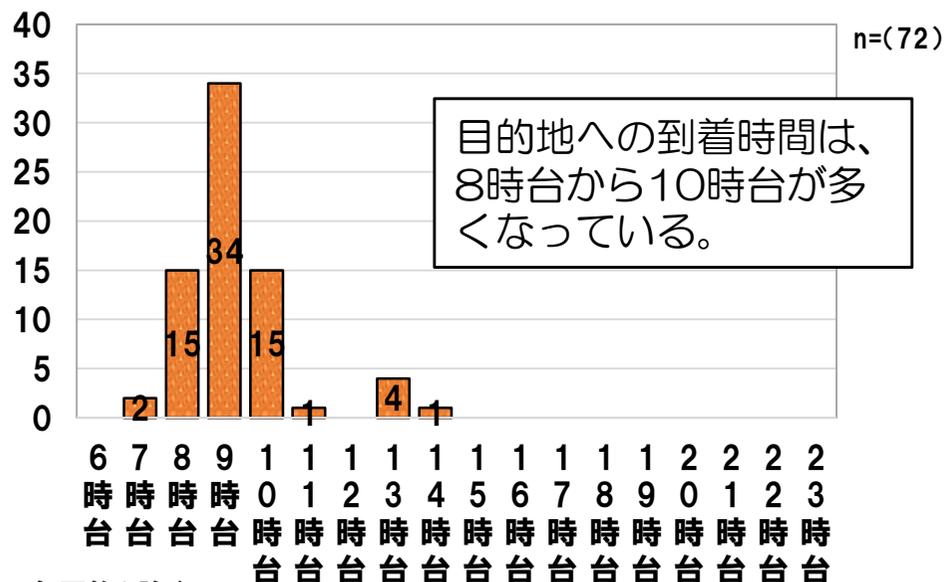
通院を目的とした利用意向の多くは、60代以上となっている。

②目的地(住所・施設名)



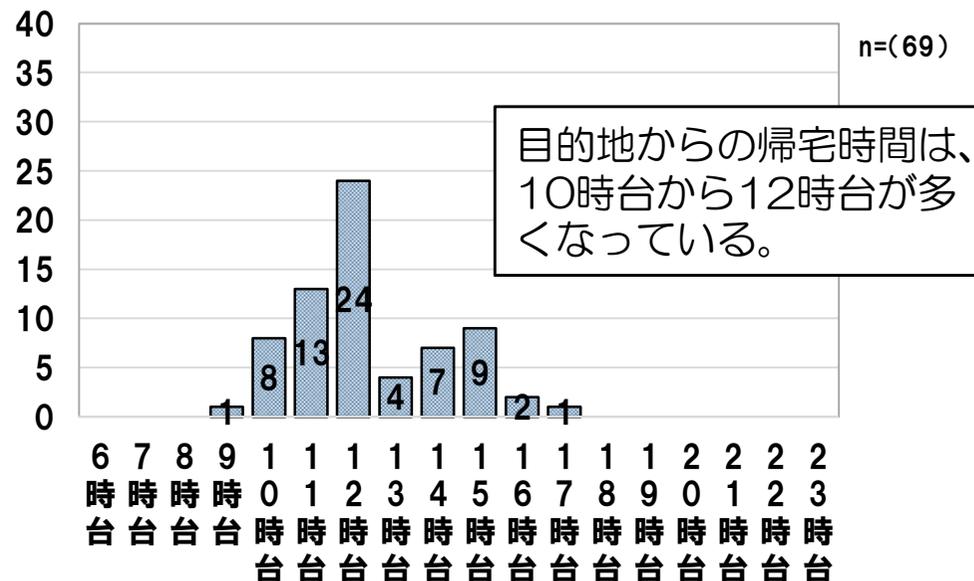
質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(通院)

④目的地への到着時間



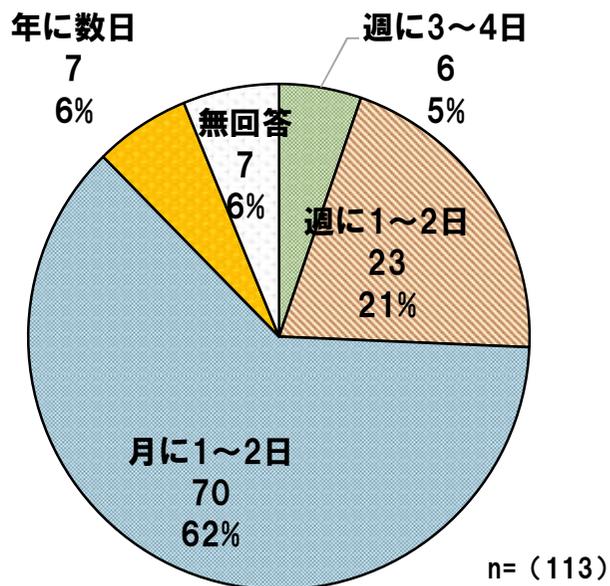
※無回答を除く

⑤目的地からの出発時間

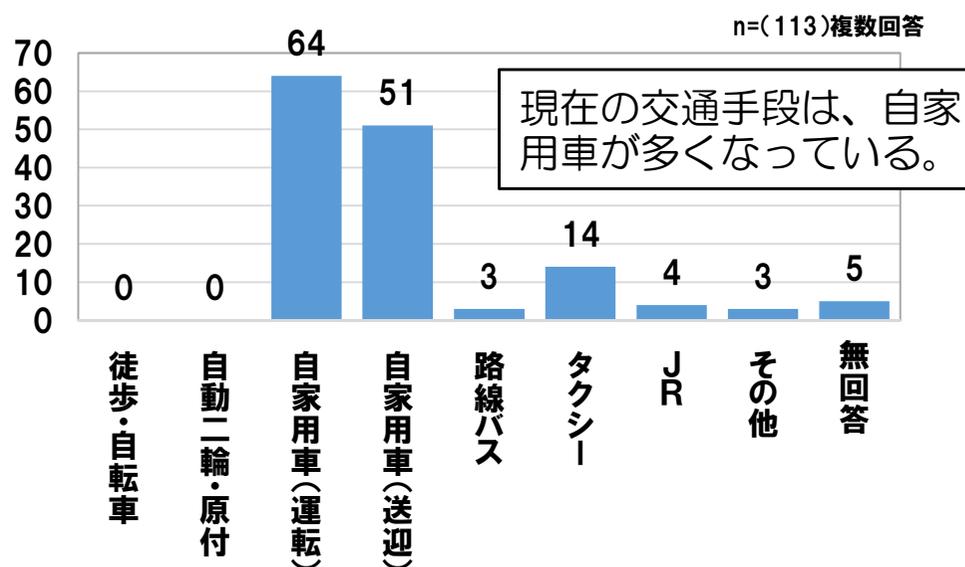


※無回答を除く

⑥頻度

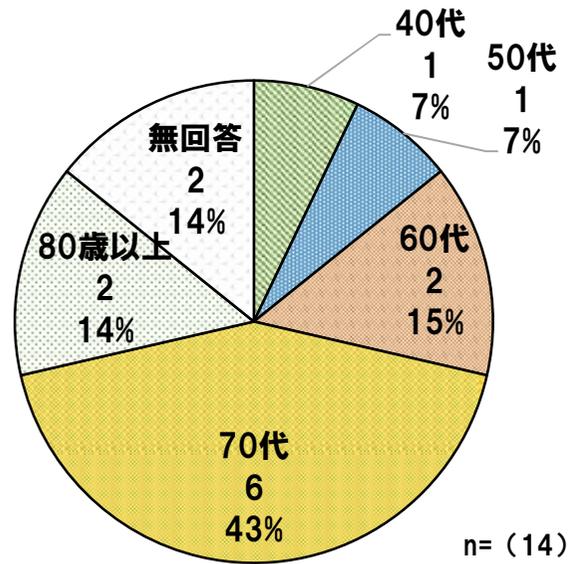


⑦現在の交通手段

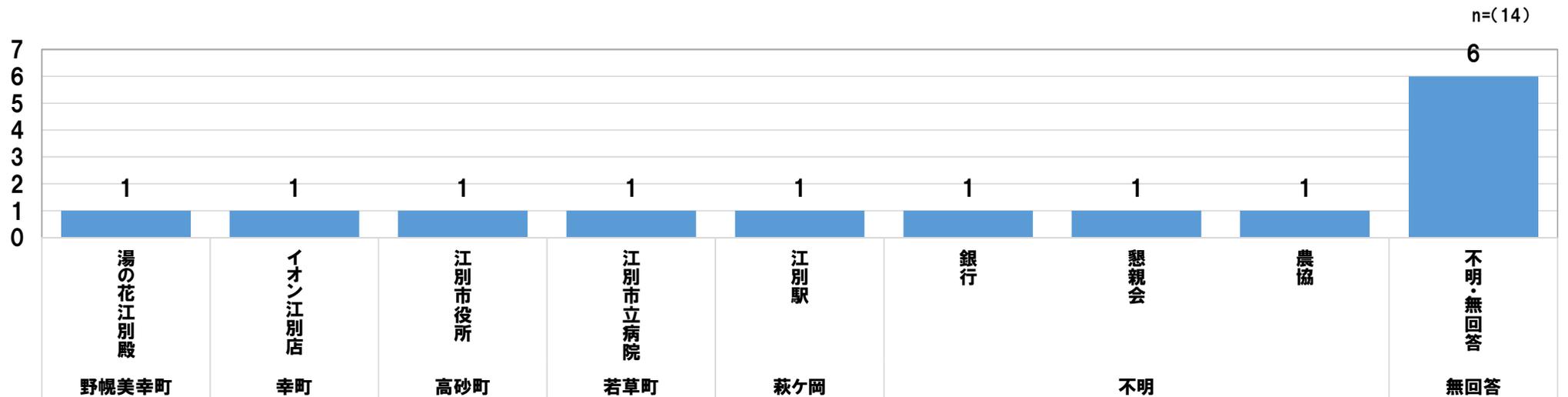


質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(その他)

①利用者(年代別)

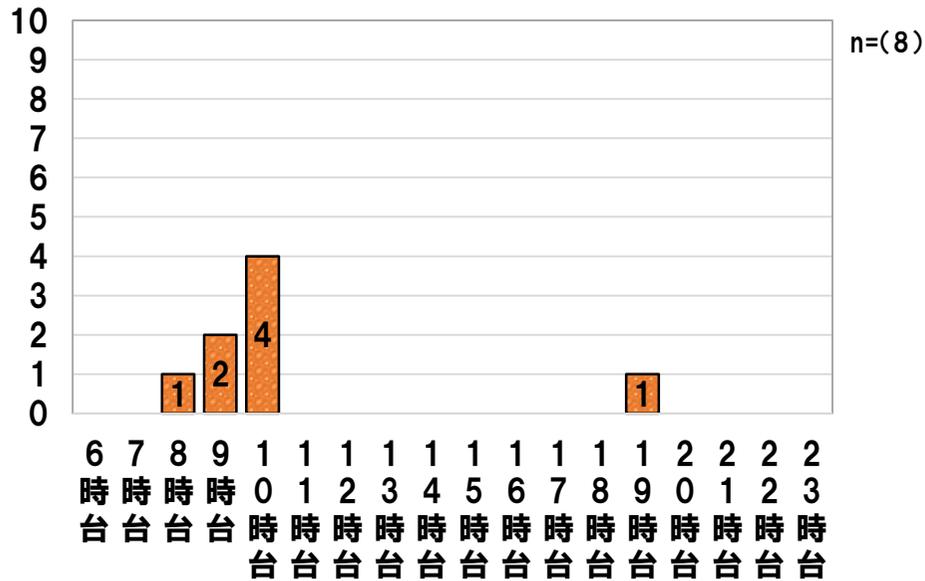


②目的地(住所・施設名)



質問4.新たな公共交通の具体的な利用意向(その他)

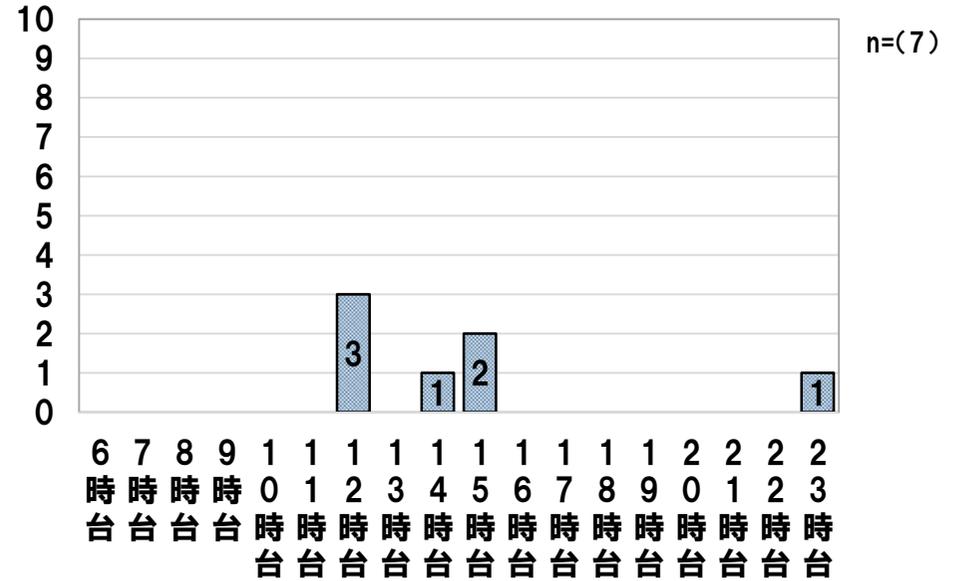
④目的地への到着時間



n=(8)

※無回答を除く

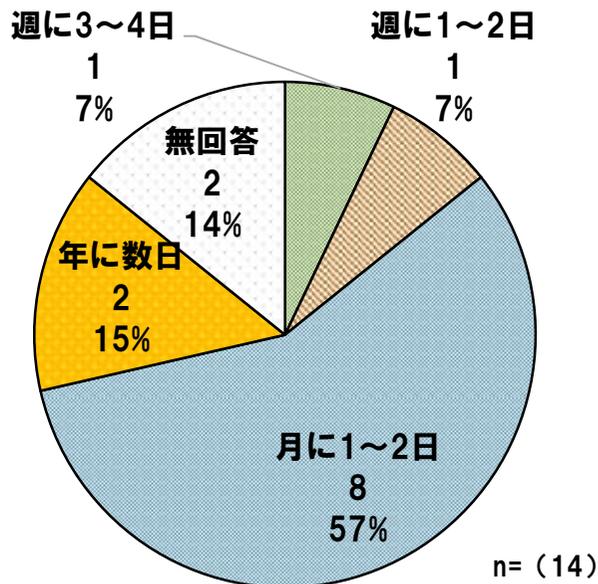
⑤目的地からの出発時間



n=(7)

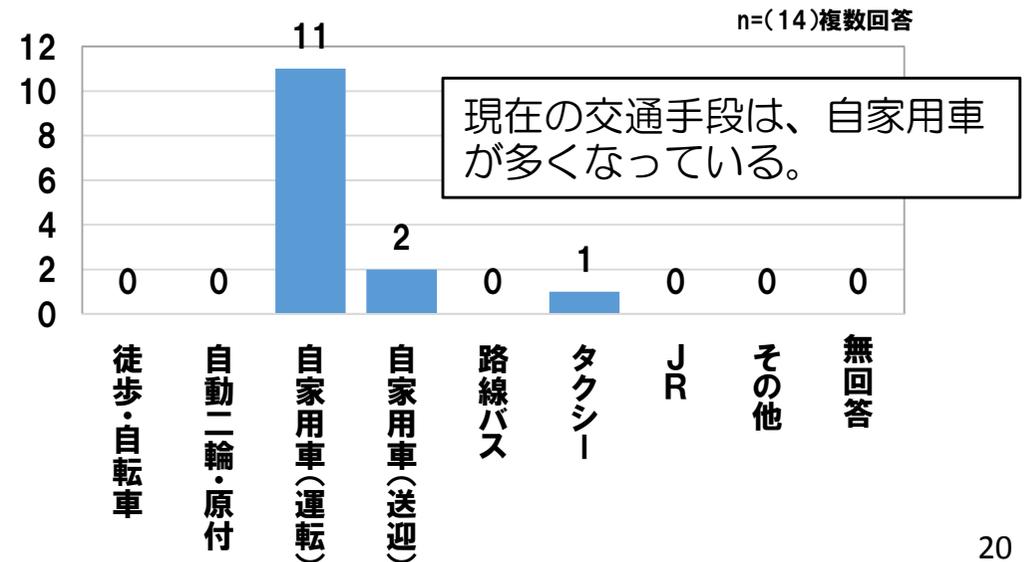
※無回答を除く

⑥頻度



n= (14)

⑦現在の交通手段



n=(14)複数回答

現在の交通手段は、自家用車が多くなっている。

公共交通についてのご意見など

自由回答

- ・子供がまだ小さいのですが将来高校など通う場合、利用すると思います。
- ・現在のバスはバス停までも遠く利用することはありません。
- ・冬場の運転が苦手なので、冬場利用することは多くなると思います。

アンケート結果についても地域に報告してもらいたいです。

バス（大型）では問題が多いので小回りの良いタクシーでの対応がよいのでは？

江北地区はいがいと広いので公共交通がどのように私達を迎えに来てくれるのかバス停までどのように行けばいいのか。年齢が上がると。

行政が全額負担すべき。

田舎ゆえに優先順位は多分最下位だと思います。街路灯も負担、公共交通も負担。負担が嫌というわけではありませんが、田舎は住みづらくなりました。これでは、後継者も育たない要因のひとつになるのではないのでしょうか。

美原地区に居住して10年になるが公共の乗り物がないことで不便を感じたことはありません。今後もおそらく公共の乗り物を利用しないように思います。

理想は行政のサービスでの解決。地域の問題でもあるが議会で議論を。議員の政治活動内では。

運営費年間6000円程度、この金額を活かして活用度が活発になれば将来的に減額も考えていいと思う。また運用方法等も実施しながら考えては？定期時間とオーダー可能な時間もあり。利用料金制と合わせ色々な利用方法も実施しながら考えていくことも可と思います。その方法は今後考えてみては？（例として、運行時間は朝と夕とし、他はオーダーで運行すると自由に使用ができるのでは？）※他に「えみくる」の事業活性にも活用。「自治会」の事業活性にも活用。「老人会」「事業所」「保育園」の事業活性にも活用。市街地から江北地域との連絡事的にも活用。この時の利用料金もしないバス運賃として取り扱っては？朝、夕の運行は指定箇所であるがオーダーは自宅まで可としては。自由裁量を考えては？今後運行しながら自由裁量を取り入れながら地域要望も入れながら検討しては？※運営費軽減を図る方法も今後検討しては。◎総括～利用度を向上させることが一番大切であり利用方法を当初から強くすると要望したが実際に運用したらあまり活用されないケースが多いので希望に沿う形で運用することが大切だと思います。

今のところ息子夫婦と私達も（夫82歳、私77歳）免許を持っているので、特別不安がありませんが、バスがなくなり寂しい気持ちはあります。車がないと生活できる地域ではないです。公共交通ができて利用者がいるかいなかと不安があります。

当別地区の運行の様な予約なしの巡回バスならいつでも利用でき便利だと思いますが予約制だと急な外出には結局自家用車の使用になり利便性が感じられない。駅から駅までの利用を考えた時も通勤、通学を想定したときには結局時間帯が合わずに民間の公共交通機関の復活を希望します。

僻地での公共交通の維持管理は基本的に行政が負担すべきと考えます。

- ①年金生活者にとり、往復1600円～2000円は大変ではないか。
- ②市の補助は？
- ③江別以外への”足”も考えれば高齢者には問題解決にならないのではないか（足腰弱）。
- ④地域内（村内とか）での共助組織併用案（有料でも可）も可能か。
- ⑤インターネットで国内外での同課題への実施例を募ってみてはどうか。以上。

公共交通はぜひ成功させて欲しい。たとえ個人の負担が多少多くなっても、今後車が乗れなくなったときや運転に自信がなくなった時に安心して免許を返すことができると思います。

現時点では利用の予定はないので分からないが交通インフラは必要。

江北地区へのアンケート調査のまとめ

【自家用車の利用と送迎交通】

- 自家用車は、6割以上の世帯で複数台を所有しており、世帯人数に応じ、保有台数も多くなっている。
- 一方、半数の世帯において自家用車による送迎が発生している。
- 送迎の目的は、通院や買い物に関する項目が多く挙げられている。
- また、約7割の方が「送迎すること」、「してもらうこと」に対して、何らかの負担を感じている。
- 送迎の頻度は、「週に5日以上」との回答が約2～3割存在しており、内訳として、通勤・通学の際の送迎が影響している。

【江北地区におけるタクシーの利用】

- タクシーは「利用しない」が約半数となっている。利用する場合においても「月に1～2日」、「年に数日」との回答が多くを占めており、日常生活の足として普段から利用されている可能性は低い。
- タクシーの利用目的は、通院が多くなっており、通勤・通学や買い物での利用は少ない。
- 問題点や改善点は、「料金が安い」との意見の他、「時間によっては配車に時間がかかる」、「大雪のときは除雪が入るまで動けない」といった回答が挙げられている。

【新たな公共交通の導入について】

- 7割以上が導入に賛成と回答している。
- 新たな公共交通を運営するための費用負担は、全体の約6割が負担の意思を示している。また、「費用を負担する気がない」と回答した方のうち、約半数の方が費用は「利用者が負担すべきだから」と回答しており、運賃の設定などにより、さらなる地域の理解を得ることができる可能性がある。
- 新たな公共交通が実際に運行した場合の利用意向は、「将来的に利用すると思う」との回答が約半数を占めており、実際に利用が見込まれる方の割合は、約2割となっている。利用しない理由の多くは、「自家用車がある」との回答となっている。

【新たな公共交通の具体的な利用意向】

●全体の傾向

- ・利用が想定される移動の主体は、60代以上の主に高齢者が多くなっており、その目的は通院や買い物が多く挙げられている。
- ・目的地は、市立病院の立地する若草町や江別駅の立地する萩ケ岡など、江別地区の回答が多くなっており、野幌地区や大麻地区に関する回答は少数となっている。
- ・目的地への到着時間は、8時台から10時台にかけての回答が多く、目的地からの出発時間は、12時台と15時台が多くなっている。
- ・回答した移動の現在の交通手段は、「自家用車」の利用が多く回答されている。

●通勤・通学

- ・通勤・通学目的の利用が想定される移動の主体は、10代の回答が多くなっている。
- ・目的地は、江別駅との回答が最多となっており、その外にそれぞれの通勤先や通学先が挙げられている。
- ・目的地への到着時間は、6時台から8時台にかけての早い時間帯の回答が多く、目的地からの出発時間は、15時台から18時台にかけて回答が多くなっている。
- ・想定される利用頻度は「週に5日以上」が多く回答されている。

●買い物

- ・買い物利用が想定される移動の主体は、60代以上の主に高齢者が多くなっている。
- ・目的地への到着時間は、10時台との回答が多く、目的地からの出発時間は、12時台との回答が多くなっている。
- ・想定される利用頻度は「週に1~2日以上」が多く回答されている。

●通院

- ・通院利用が想定される移動の主体は、60代以上の主に高齢者が多くなっており、目的地として特に挙げられている場所は、市立病院との回答が多く挙げられている。
- ・目的地への到着時間は、8時台から10時台にかけての回答が多く、目的地からの出発時間は、11時台から12時台が多くなっている。